

第4次三鷹市基本計画第1次改定骨格案に係る
アンケート調査報告書

平成27年12月

三鷹市

目 次

I アンケート調査の概要

1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 調査項目	1
4. 回収結果	1
5. 報告書の見方	1

II 調査結果の概要

(1) 重点的に取り組むべきプロジェクトについて	2
(2) 地方創生の基本目標に対して今後優先して取り組むべき項目について	2

III 調査結果

1. 基本属性	3
(1) 性別	3
(2) 年齢	4
(3) 居住年数	5
(4) 居住地区	6
2. 第4次基本計画第1次改定骨格案において重点的に取り組むべき課題（問1）	7
(1) 性別	8
(2) 年齢別	8
(3) 居住年数別	9
(4) 居住地区別	10
(5) 重点プロジェクトの特徴	11
(6) 平成23年「第4次三鷹市基本計画骨格案に係る市民アンケート調査」 との比較	12
3. 地方創生の基本目標に対して今後優先して取り組むべき項目（問2）	13
(1) 性別	14
(2) 年齢別	14
(3) 居住年数別	15
(4) 居住地区別	16
(5) 地域活性化する（産業、商業、コミュニティなど）ための意見	17
4. 第4次基本計画第1次改定骨格案に関する意見（問3）	19

IV 資料

1. 第4次基本計画第1次改定骨格案特集号アンケート用紙	23
------------------------------	----

I アンケート調査の概要

1. 調査目的

本調査は、第4次三鷹市基本計画第1次改定骨格案に対する市民の意見を把握し、計画素案の検討に反映していくために実施したものである。

2. 調査設計

■調査対象及び調査手法

「広報みたか 第4次三鷹市基本計画第1次改定骨格案 特集号」と同時に全戸に配布し、返信用葉書により回収した他、FAX、eメールでも返信を受け付けた。

■調査期間

平成27年10月9日（金）から11月2日（月）まで

3. 調査項目

(1) 回答者の基本属性

- ・性別
- ・年齢
- ・居住年数
- ・居住地区

(2) 重点的に取り組むべきプロジェクトの課題について（2つまで選択）

(3) 地方創生の基本目標に対して今後優先して取り組むべき項目について（1つ選択、自由記述）

(4) 第4次基本計画第1次改定骨格案に関する意見（自由記述）

4. 回収結果

有効回収数： 2, 925

5. 報告書の見方

- (1) 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、百分率の合計が100%にならないことがある。
- (2) 2つ以上回答をしてもよい質問（複数回答）の場合、百分率の合計は通常100%を超える。
- (3) 回答選択肢は、短縮して表記している場合がある。
- (4) 属性別の分析にあたっては、各属性サンプル数が少数(30未満)の場合には、的確に分析ができないため参考程度に見ていただきたい。

Ⅱ 調査結果の概要

(1) 重点的に取り組むべきプロジェクトについて

- ・プロジェクトに掲げる9つの課題のうち重点的に取り組むべきと思うものは、「すべての人が心安らかに暮らせる、安全安心プロジェクト」「いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト」、「いつまでも元気に暮らせる、健康長寿社会プロジェクト」の3点が高い。
- ・年齢別では、20代～40代は「いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト」が最も高く、特に30代で極めて高い。80代以上は「すべての人が心安らかに暮らせる、安全安心プロジェクト」が最も高くなっている。また、50代以上は「いつまでも元気に暮らせる、健康長寿社会プロジェクト」が他の年代に比べかなり高い。
- ・居住年数別では、10年未満の層は「いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト」が最も高い。20年以上の層は「すべての人が心安らかに暮らせる、安全安心プロジェクト」が最も高くなっている。
- ・居住地区別では、各地区とも「すべての人が心安らかに暮らせる、安全安心プロジェクト」か「いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト」が最も高いのに対し、野崎地区だけは「いつまでも元気に暮らせる、健康長寿社会プロジェクト」が最も高くなっている。

(2) 地方創生の基本目標に対して今後優先して取り組むべき項目について

- ・地方創生の4つの基本目標に対して今後優先的に取り組むべき項目は、「安心な暮らしの確保とコミュニティづくりを進める」が最も高く、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」が続く。
- ・年齢別では、20代、30代は「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」が極めて高く、40代以上は「安心な暮らしの確保とコミュニティづくりを進める」が最も高くなっている。
- ・居住年数別では、5年未満の層は「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、5年以上の層は「安心な暮らしの確保とコミュニティづくりを進める」が、それぞれ最も高い。
- ・居住地区別では、井口地区は「安心な暮らしの確保とコミュニティづくりを進める」が他地区に比べ高い。また、井口・野崎地区は「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」が他地区に比べ低くなっている。

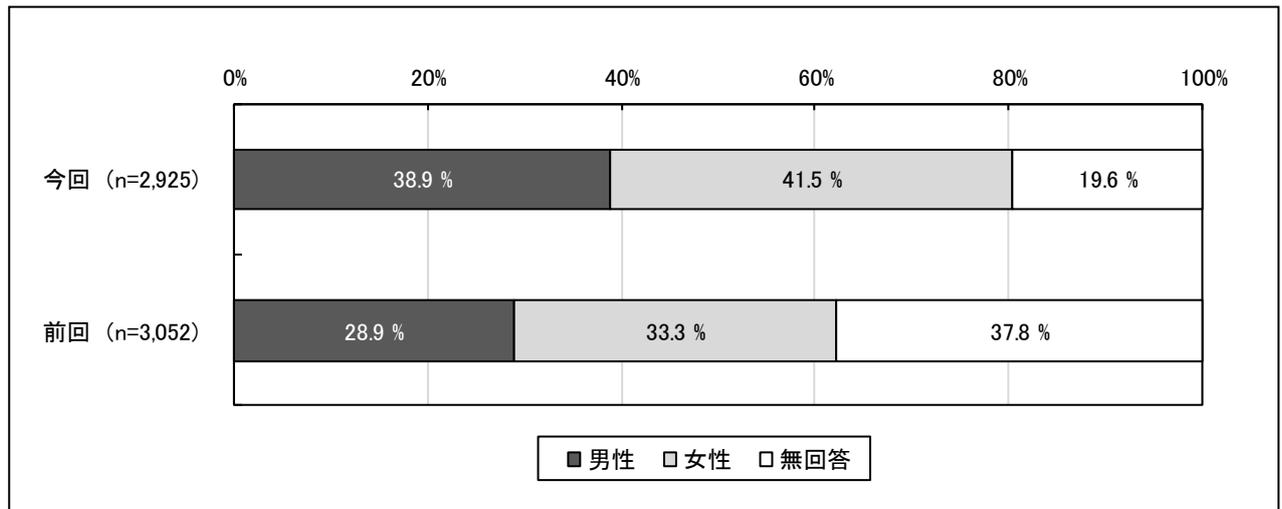
Ⅲ 調査結果

1. 基本属性

(1) 性別

男性が38.9%、女性が41.5%である。前回の調査（平成23年10月実施「第4次三鷹市基本計画骨格案に係る市民アンケート調査」、以下同様）と比較すると、無回答は減少しているが、女性の方がやや多い傾向は変わらない。

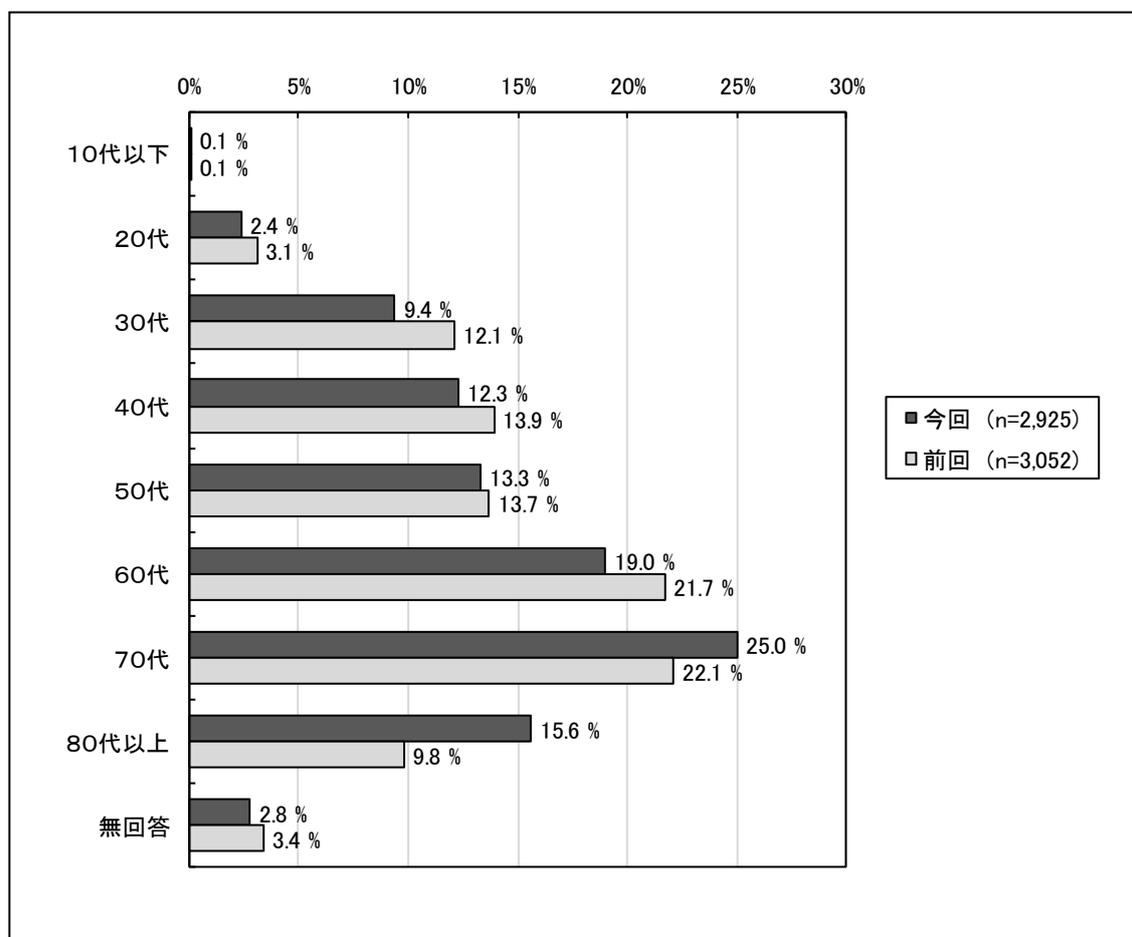
図表Ⅲ－1－1 性別（単一回答）



(2) 年齢

回答者の年齢は、70代（25.0%）が最も多く、次いで60代（19.0%）、80代以上（15.6%）、50代（13.3%）、40代（12.3%）、30代（9.4%）、20代（2.4%）の順となっている。前回の調査と比較すると、70代、80代以上が増加し、20代～60代が減少した。

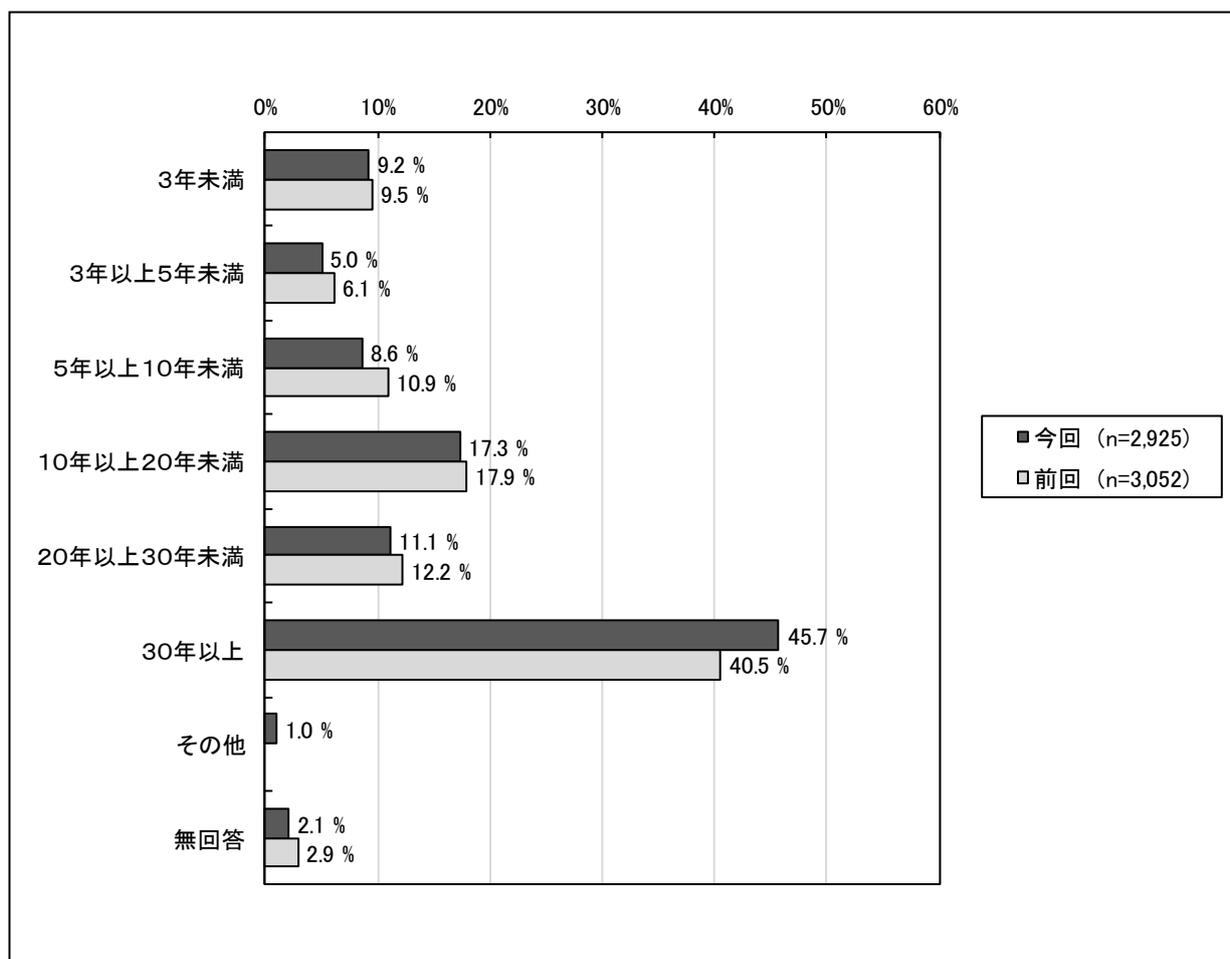
図表Ⅲ－１－２ 年齢（単一回答）



(3) 居住年数

回答者の居住年数は、「30年以上」(45.7%)が最も多い。次いで「10年以上20年未満」(17.3%)、「20年以上30年未満」(11.1%)、「3年未満」(9.2%)、「5年以上10年未満」(8.6%)、「3年以上5年未満」(5.0%)の順となっている。前回の調査と比較すると、「30年以上」が増加している。

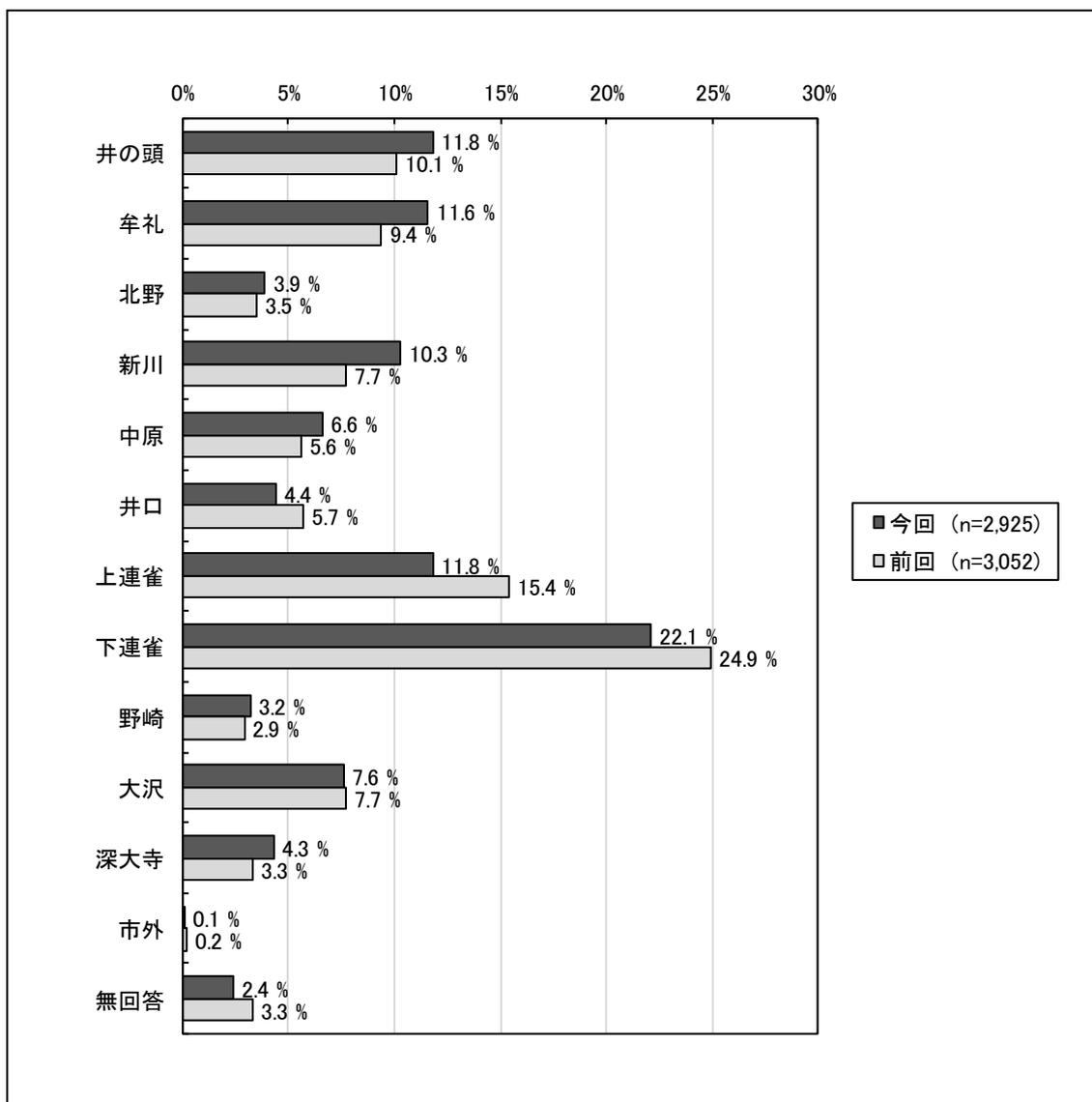
図表Ⅲ－１－３ 居住年数（単一回答）



(4) 居住地区

回答者の居住地区は、下連雀（22.1%）が最も多く、次いで上連雀・井の頭（各11.8%）、牟礼（11.6%）、新川（10.3%）の順となっている。前回の調査と比較すると、新川・牟礼がやや増加し、上連雀・下連雀がやや減少している。

図表Ⅲ－１－４ 居住地区（単一回答）



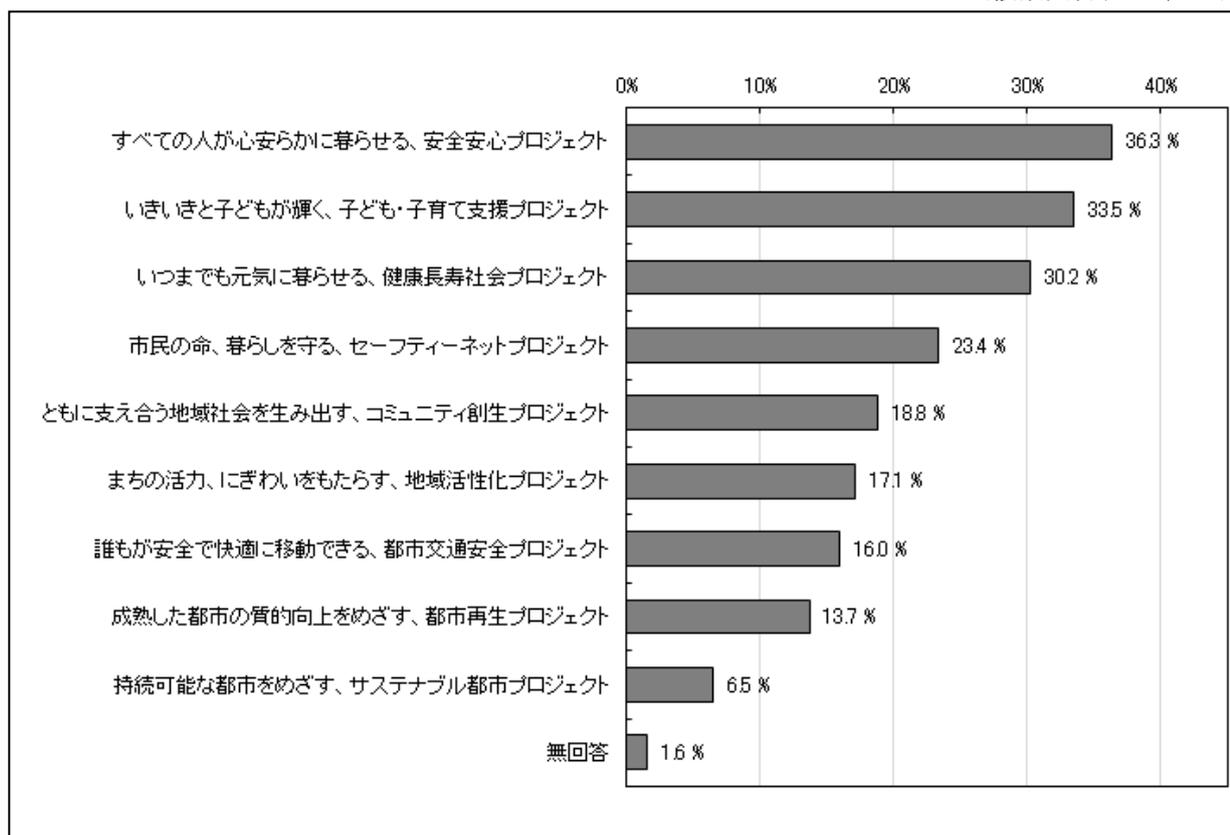
2. 第4次基本計画第1次改定骨格案において重点的に取り組むべき課題

【問1】第4次基本計画第1次改定骨格案において、最重点・重点プロジェクトに掲げる9つの課題のうち、三鷹市が引き続き重点的に取り組むべきと思うものを、2つ選んでください。

重点的に取り組むべき課題としては、「すべての人が心安らかに暮らせる、安全安心プロジェクト」(36.3%)が最も高く、次いで「いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト」(33.5%)、「いつまでも元気に暮らせる、健康長寿社会プロジェクト」(30.2%)の順に高い。一方、「持続可能な都市をめざす、サステナブル都市プロジェクト」(6.5%)は低い。

図表Ⅲ－２－１ 第4次基本計画第1次改定骨格案において重点的に取り組むべき課題

(複数回答、n=2,925)



(1) 性別

性別では、男女ともに「すべての人が心安らかに暮らせる、安全安心プロジェクト」が最も高く、次いで「いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト」「いつまでも元気に暮らせる、健康長寿社会プロジェクト」の順に続く。全体の結果と比較すると上位は変わらない。

図表Ⅲ－２－２ 第4次基本計画第1次改定骨格案において重点的に取り組むべき課題（性別）

	成熟した都市再生プロジェクト	ともに支え合う地域社会を生み出す、コミュニティ創生プロジェクト	いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト	いつまでも元気に暮らせる、健康長寿社会プロジェクト	市民の命、暮らしを守る、セーフティーネットプロジェクト	持続可能な都市をめざす、サステナブル都市プロジェクト	まちの活力、にぎわいをもたらす、地域活性化プロジェクト	誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト	すべての人が心安らかに暮らせる、安全安心プロジェクト	無回答
回答者全体 (n=2,925)	13.7%	18.8%	33.5%	30.2%	23.4%	6.5%	17.1%	16.0%	36.3%	1.6%
男性 (n=1,138)	15.8%	16.4%	34.4%	31.7%	21.5%	6.9%	20.0%	14.7%	35.0%	1.3%
女性 (n=1,214)	11.7%	21.1%	34.3%	26.8%	26.4%	5.8%	14.8%	18.1%	36.8%	1.5%

(2) 年齢別

年齢別では、20代、30代、40代は「いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト」がいずれも4割以上と高く、特に30代では7割以上を占めている。50代以上は「すべての人が心安らかに暮らせる、安全安心プロジェクト」が最も高い。また、「いつまでも元気に暮らせる、健康長寿社会プロジェクト」は50代以上、「まちの活力、にぎわいをもたらす、地域活性化プロジェクト」は20代が、それぞれ他の年代に比べ高い。

図表Ⅲ－２－３ 第4次基本計画第1次改定骨格案において重点的に取り組むべき課題（年齢別）

	成熟した都市再生プロジェクト	ともに支え合う地域社会を生み出す、コミュニティ創生プロジェクト	いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト	いつまでも元気に暮らせる、健康長寿社会プロジェクト	市民の命、暮らしを守る、セーフティーネットプロジェクト	持続可能な都市をめざす、サステナブル都市プロジェクト	まちの活力、にぎわいをもたらす、地域活性化プロジェクト	誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト	すべての人が心安らかに暮らせる、安全安心プロジェクト	無回答
回答者全体 (n=2,925)	13.7%	18.8%	33.5%	30.2%	23.4%	6.5%	17.1%	16.0%	36.3%	1.6%
20代 (n=70)	20.0%	18.6%	47.1%	8.6%	20.0%	12.9%	27.1%	17.1%	28.6%	0.0%
30代 (n=276)	15.6%	13.4%	73.6%	8.3%	19.6%	8.7%	14.1%	23.9%	20.7%	0.7%
40代 (n=360)	14.2%	16.9%	43.3%	18.6%	25.8%	8.9%	19.7%	20.3%	30.6%	0.6%
50代 (n=390)	15.9%	18.7%	22.6%	32.3%	28.5%	7.7%	16.7%	20.3%	34.4%	1.3%
60代 (n=555)	12.4%	18.2%	27.9%	35.3%	25.9%	8.6%	17.3%	14.1%	36.9%	1.3%
70代 (n=732)	11.9%	23.1%	31.0%	36.2%	20.1%	3.4%	17.8%	12.2%	40.0%	1.6%
80代以上 (n=457)	13.8%	17.1%	20.6%	38.7%	21.7%	3.5%	16.0%	12.5%	46.4%	3.5%

は全体結果より5ポイント以上大きい属性

(3) 居住年数別

三鷹市に居住年数別では、10年未満の層は「いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト」が最も高く、3年以上5年未満（54.8%）、3年未満（46.7%）、5年以上10年未満（43.8%）と、回答者全体より10ポイント以上高くなっている。20年以上の層は「すべての人が心安らかに暮らせる、安全安心プロジェクト」が最も高くなっている。

図表Ⅲ－２－４ 第4次基本計画第1次改定骨格案において重点的に取り組むべき課題
(三鷹市に居住年数別)

	成熟した都市再生プロジェクト	ともに支え合う地域社会を生み出す、コミュニティ創生プロジェクト	いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト	健康長寿社会プロジェクト	市民の命、暮らしを守る、セーフティネットプロジェクト	持続可能な都市をめざす、サステナブル都市プロジェクト	まちの活力、にぎわいをもたらす、地域活性化プロジェクト	誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト	すべての人が心安らかに暮らせる、安全安心プロジェクト	無回答
回答者全体 (n=2,925)	13.7%	18.8%	33.5%	30.2%	23.4%	6.5%	17.1%	16.0%	36.3%	1.6%
3年未満 (n=270)	20.7%	15.2%	46.7%	16.7%	21.1%	11.1%	17.8%	21.5%	27.0%	0.7%
3年以上5年未満 (n=146)	9.6%	19.9%	54.8%	18.5%	17.8%	9.6%	14.4%	27.4%	26.0%	0.7%
5年以上10年未満 (n=251)	16.3%	17.1%	43.8%	22.7%	21.1%	8.0%	15.5%	18.3%	33.9%	1.2%
10年以上20年未満 (n=506)	13.0%	19.6%	34.0%	29.1%	28.5%	7.3%	16.4%	16.6%	33.0%	1.2%
20年以上30年未満 (n=324)	13.6%	18.5%	30.9%	34.3%	22.2%	6.5%	18.5%	13.9%	36.4%	2.5%
30年以上 (n=1,337)	12.9%	19.3%	27.4%	35.0%	22.9%	4.6%	17.7%	13.7%	40.8%	1.9%

は全体結果より5ポイント以上大きい属性

(4) 居住地区別

居住地区別では、ほとんどの各地区で「すべての人が心安らかに暮らせる、安全安心プロジェクト」が最も高いが、野崎地区は「いつまでも元気に暮らせる、健康長寿社会プロジェクト」（41.9%）が、最も高く、回答者全体より10ポイント以上高い割合を示している。

図表Ⅲ－２－５ 第4次基本計画第1次改定骨格案において重点的に取り組むべき課題（居住地区別）

	成熟した都市再生プロジェクト	ともに支え合う地域社会を生み出す、コミュニティ創生プロジェクト	いきいきと子どもが輝く、子ども・子育て支援プロジェクト	いつまでも元気に暮らせる、健康長寿社会プロジェクト	市民の命、暮らしを守る、セーフティネットプロジェクト	持続可能な都市をめざす、サステナブル都市プロジェクト	まちの活力、にぎわいをもたらす、地域活性化プロジェクト	誰もが安全で快適に移動できる、都市交通安全プロジェクト	すべての人が心安らかに暮らせる、安全安心プロジェクト	無回答
回答者全体 (n=2,925)	13.7%	18.8%	33.5%	30.2%	23.4%	6.5%	17.1%	16.0%	36.3%	1.6%
井の頭 (n=345)	14.2%	20.0%	38.0%	28.1%	23.5%	6.4%	17.7%	13.3%	35.7%	1.2%
牟礼 (n=340)	15.9%	19.7%	32.9%	30.0%	19.1%	6.5%	11.8%	20.6%	38.8%	1.5%
北野 (n=115)	7.0%	19.1%	33.9%	31.3%	19.1%	9.6%	13.9%	20.0%	36.5%	3.5%
新川 (n=301)	9.6%	15.9%	36.2%	32.9%	24.9%	5.3%	14.3%	21.3%	34.9%	2.3%
中原 (n=194)	12.4%	19.6%	38.7%	26.3%	21.6%	5.2%	19.1%	14.4%	37.1%	2.6%
井口 (n=128)	14.1%	22.7%	22.7%	31.3%	27.3%	8.6%	10.9%	18.0%	41.4%	1.6%
上連雀 (n=344)	14.2%	18.6%	30.8%	29.9%	25.6%	7.6%	20.6%	11.0%	36.6%	1.7%
下連雀 (n=646)	18.9%	18.9%	30.7%	27.9%	22.0%	7.6%	20.1%	15.9%	35.4%	0.8%
野崎 (n=93)	12.9%	14.0%	38.7%	41.9%	23.7%	4.3%	16.1%	14.0%	32.3%	1.1%
大沢 (n=221)	7.2%	20.8%	37.1%	35.3%	26.2%	3.6%	20.4%	12.2%	32.1%	1.4%
深大寺 (n=125)	12.0%	12.8%	32.0%	33.6%	24.8%	3.2%	15.2%	17.6%	43.2%	2.4%

は全体結果より5ポイント以上大きい属性

(5) 最重点・重点プロジェクトにおける性別・年齢の特徴

■「都市再生プロジェクト」

性別では男性、年齢では20代、居住年数では3年未満、居住地区では下連雀で高い。

■「コミュニティ創生プロジェクト」

性別では女性、年齢では70代、居住地区では井口で比較的高く、深大寺で低い。

■「子ども・子育て支援プロジェクト」

年齢では20代～40代、居住年数では10年未満、居住地区では中原・野崎で高い。

■「健康長寿社会プロジェクト」

性別では女性、年齢では50代以上、居住年数では年数が長いほど高くなっている。居住地区では野崎で高い。

■「セーフティーネットプロジェクト」

性別では女性、年齢では40代～60代、居住年数では10年以上20年未満で高い。

■「サステナブル都市プロジェクト」

年齢では20代が他の年代に比べやや高く、居住年数が長くなるほど高くなる傾向が見られる。

■「地域活性化プロジェクト」

性別では男性、年齢では20代で高い。また、居住地区別では井口・牟礼は他地区に比べやや低くなっている。

■「都市交通安全プロジェクト」

性別では女性、年齢では30代～50代、居住年数では5年未満、居住地区では牟礼・北野・新川で高い。

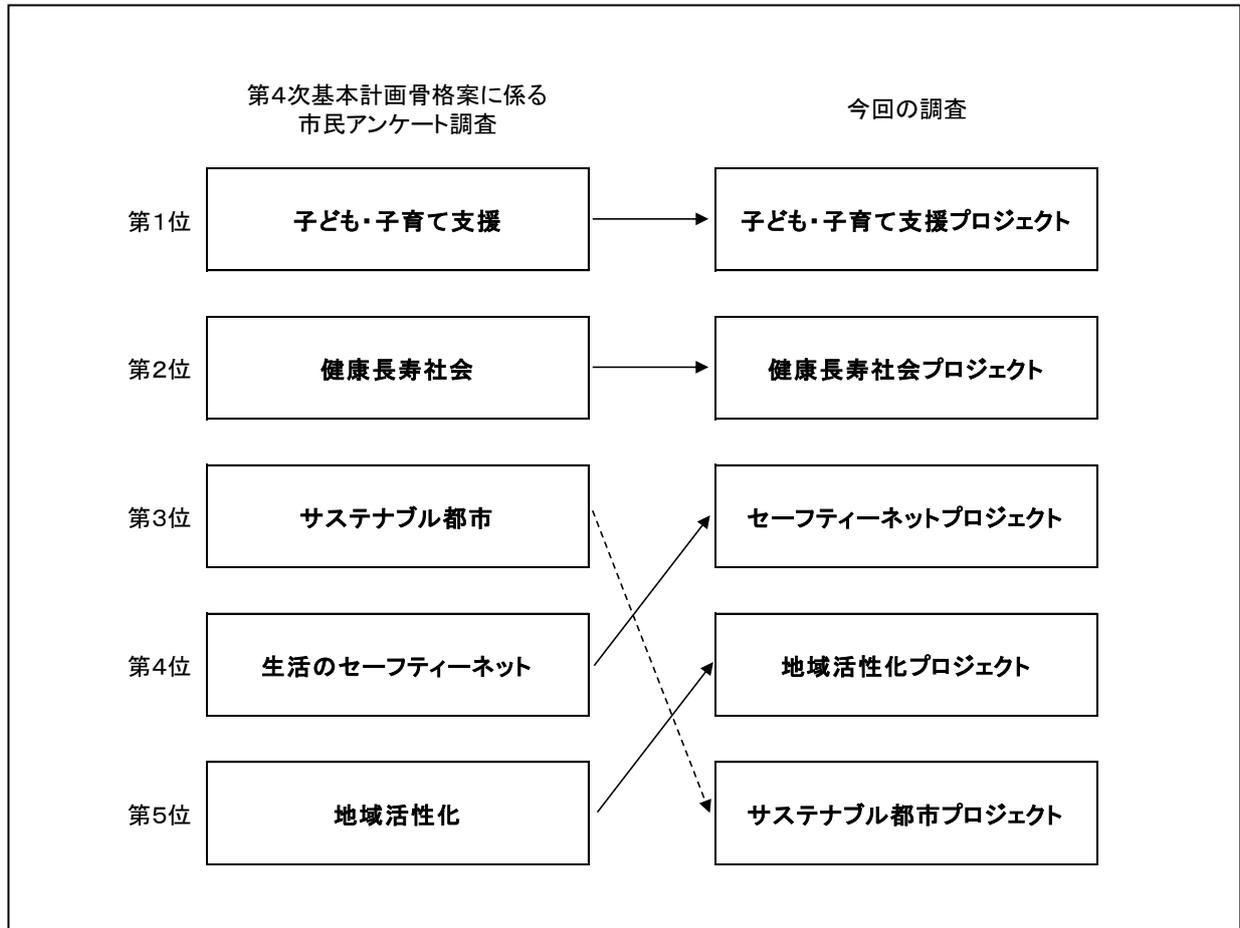
■「安全安心プロジェクト」

年齢・居住年数では、高年層、及び居住年数が長いほど高い傾向を示している。居住地区では井口・深大寺で高い。

(6) 平成23年「第4次三鷹市基本計画骨格案に係る市民アンケート調査」との比較

設問や選択肢の表現が異なるため単純には比較はできない点に留意が必要であるが、平成23年10月に実施した「第4次三鷹市基本計画骨格案に係る市民アンケート調査」と参考程度に比較してみたところ、上位2位までの変動は見られないが、3位の「サステナブル都市」は今回の調査では順位を下げている。

図表Ⅲ－２－６ 平成23年「第4次三鷹市基本計画骨格案に係る市民アンケート調査」との比較



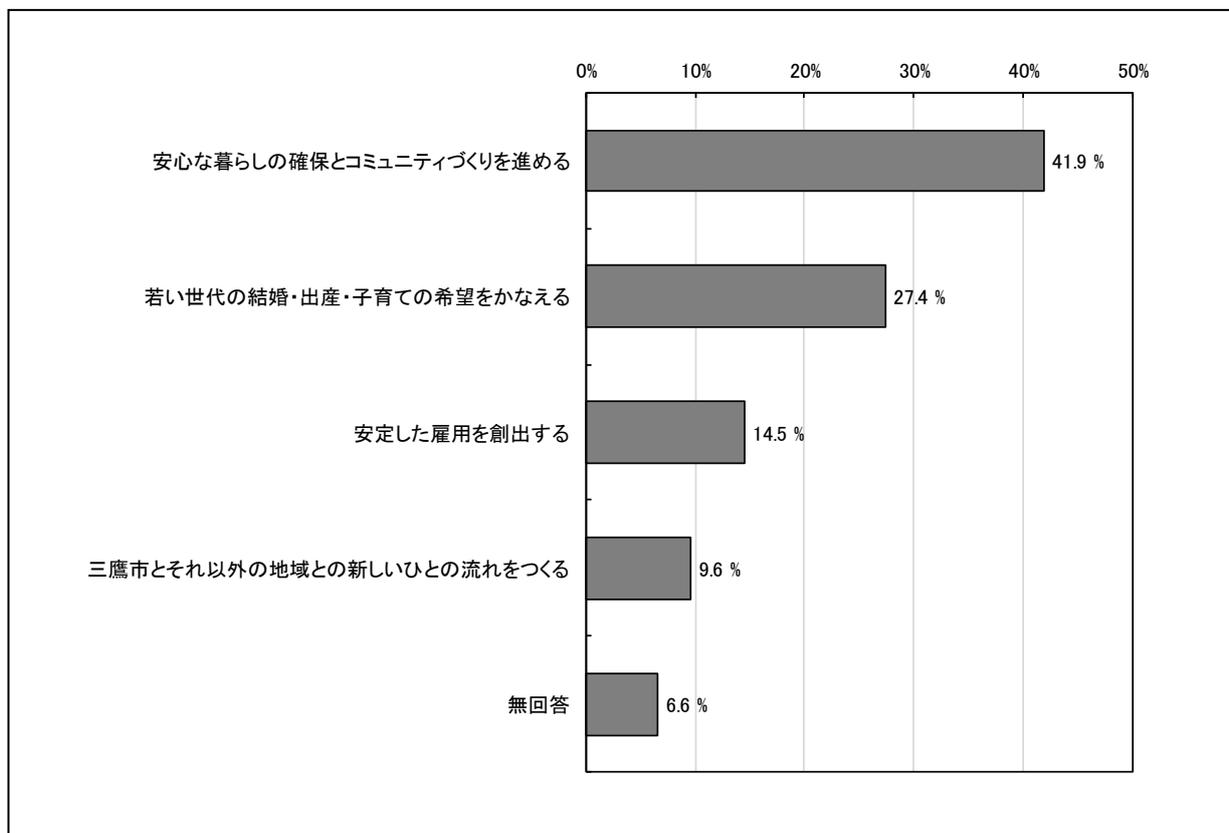
3. 地方創生の基本目標に対して今後優先して取り組むべき項目

【問2】国が進める「地方創生」の中で掲げられている4つの基本目標のうち、市としても今後優先して取り組むべき項目だと思うものを1つ選んでください。

優先して取り組むべき項目としては、「安心な暮らしの確保とコミュニティづくりを進める」(41.9%)が最も高く、次いで「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」(27.4%)、「安定した雇用を創出する」(14.5%)、「三鷹市とそれ以外の地域との新しいひとの流れをつくる」(9.6%)の順となっている。前問の重点項目と同様、安心できる暮らしを重視する声が強い。

図表Ⅲ－3－1 地方創生の基本目標に対して今後優先して取り組むべき項目

(単一回答、n=2,925)



(1) 性別

性別では、男女ともに「安心な暮らしの確保とコミュニティづくりを進める」が最も高い。また、「安定した雇用を創出する」以外は、各項目とも男性の方が女性よりやや高くなっている。

図表Ⅲ－３－２ 地方創生の基本目標に対して今後優先して取り組むべき項目（性別）

	安定した雇用を創出する	し三鷹市との流れを外の地域との新	の若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	テ安心な暮らしを進める確保とコミュニティ	無回答
回答者全体 (n=2,925)	14.5 %	9.6 %	27.4 %	41.9 %	6.6 %
男性 (n=1,138)	11.2 %	10.3 %	30.8 %	42.3 %	5.4 %
女性 (n=1,214)	16.1 %	9.4 %	26.2 %	41.7 %	6.6 %

(2) 年齢別

年齢別では、20代、30代で「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」が半数以上を占めており、特に30代（60.5%）が高い。40代以上は「安心な暮らしの確保とコミュニティづくりを進める」が最も高い。

図表Ⅲ－３－３ 地方創生の基本目標に対して今後優先して取り組むべき項目（年齢別）

	安定した雇用を創出する	し三鷹市との流れを外の地域との新	の若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	テ安心な暮らしを進める確保とコミュニティ	無回答
回答者全体 (n=2,925)	14.5 %	9.6 %	27.4 %	41.9 %	6.6 %
20代 (n=70)	12.9 %	10.0 %	51.4 %	22.9 %	2.9 %
30代 (n=276)	8.7 %	4.7 %	60.5 %	21.7 %	4.3 %
40代 (n=360)	16.7 %	11.1 %	23.9 %	43.1 %	5.3 %
50代 (n=390)	18.2 %	9.0 %	19.7 %	47.9 %	5.1 %
60代 (n=555)	15.5 %	8.5 %	24.5 %	44.5 %	7.0 %
70代 (n=732)	13.8 %	10.9 %	26.4 %	42.8 %	6.1 %
80代以上 (n=457)	11.8 %	12.0 %	18.8 %	47.5 %	9.8 %

は全体結果より5ポイント以上大きい属性

(3) 居住年数別

居住年数別では、5年未満の層は「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」が最も高く、3年未満（38.1%）、3年以上5年未満（37.7%）では回答者全体より10ポイント以上高い割合を示している。5年以上の層は「安心な暮らしの確保とコミュニティづくりを進める」が最も高い。

図表Ⅲ－3－4 地方創生の基本目標に対して今後優先して取り組むべき項目
(居住年数別)

	安定した雇用を創出する	三鷹市との流れを外の地域との新しい	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	安心な暮らしの確保とコミュニティづくりを進める	無回答
回答者全体 (n=2,925)	14.5 %	9.6 %	27.4 %	41.9 %	6.6 %
3年未満 (n=270)	10.4 %	8.5 %	38.1 %	38.1 %	4.8 %
3年以上5年未満 (n=146)	12.3 %	11.0 %	37.7 %	29.5 %	9.6 %
5年以上10年未満 (n=251)	11.2 %	5.6 %	36.7 %	41.8 %	4.8 %
10年以上20年未満 (n=506)	16.8 %	8.9 %	25.7 %	43.3 %	5.3 %
20年以上30年未満 (n=324)	15.4 %	11.1 %	23.8 %	43.5 %	6.2 %
30年以上 (n=1,337)	14.4 %	10.8 %	24.2 %	43.2 %	7.4 %

は全体結果より5ポイント以上大きい属性

(4) 居住地区別

居住地区別では、各地区とも「安心な暮らしの確保とコミュニティづくりを進める」が最も高い。特に、井口地区（50.0%）で高い。

図表Ⅲ－3－5 地方創生の基本目標に対して今後優先して取り組むべき項目（居住地区別）

	安定した雇用を創出する	三鷹市との流れを外の地域との新しいひとのつくる	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	安心な暮らしの確保とコミュニティづくりを進める	無回答
回答者全体 (n=2,925)	14.5 %	9.6 %	27.4 %	41.9 %	6.6 %
井の頭 (n=345)	13.3 %	9.3 %	32.8 %	38.6 %	6.1 %
牟礼 (n=340)	14.4 %	8.8 %	30.3 %	41.8 %	4.7 %
北野 (n=115)	11.3 %	9.6 %	30.4 %	44.3 %	4.3 %
新川 (n=301)	16.3 %	9.3 %	27.2 %	38.5 %	8.6 %
中原 (n=194)	12.4 %	13.4 %	29.9 %	35.6 %	8.8 %
井口 (n=128)	11.7 %	14.8 %	18.8 %	50.0 %	4.7 %
上連雀 (n=344)	15.1 %	7.0 %	25.6 %	46.2 %	6.1 %
下連雀 (n=646)	13.5 %	9.6 %	24.9 %	46.1 %	5.9 %
野崎 (n=93)	19.4 %	10.8 %	19.4 %	39.8 %	10.8 %
大沢 (n=221)	17.2 %	11.8 %	28.1 %	38.5 %	4.5 %
深大寺 (n=125)	14.4 %	8.0 %	32.0 %	34.4 %	11.2 %

は全体結果より5ポイント以上大きい属性

(5) 地域が活性化する（産業、商業、コミュニティなど）ための意見

【問2】「地域が活性化する」（産業、商業、コミュニティなど）ためのご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

意見を寄せられた1,245人の記述内容としては、「子育て支援」「地域コミュニティ」「商業」に関する意見が多く挙げられている。

図表Ⅲ-3-6 地域活性化する（産業、商業、コミュニティなど）ための意見
（自由回答、n=1,245）

順位	項目	件数
1	子育て支援	364
2	地域コミュニティ	210
3	商業振興	183
4	安全安心	175
5	まちづくり	143

寄せられた意見の主な内容は以下のとおりである。

「子育て支援」(364件)

- ・待機児童の解消に向けた、施設の充実 (54件)
- ・子育て世代が安心して働ける環境づくりの推進

「地域コミュニティ」(210件)

- ・気軽に参加できる、地域コミュニティづくりの推進 (70件)
- ・公園、児童館、コミュニティ・センター等の施設の充実

「商業振興」(183件)

- ・商店街を活性化し、商業環境の充実 (64件)
- ・三鷹駅前周辺の活性化

「安全安心」(175件)

- ・人や自転車が安全に通行できる整備の推進 (30件)
- ・防犯対策など、安心して暮らせるまち

「まちづくり」(143件)

- ・用途地域の見直しなど、景観についての推進 (27件)
- ・都市型農業を保全や市内農産物のPR

その他

- ・安定した雇用創出の支援 (43件)
- ・市内交通不便地域の解消 (43件)
- ・三鷹の魅力を発信や観光PRの推進 (35件)
- ・近隣自治体と連携し、一体となった施策の展開 (31件) など

4. 第4次基本計画第1次改定骨格案に関する意見

【問3】第4次基本計画第1次改定骨格案に関するご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

意見を寄せられた1,137人の記述内容を問1の重点プロジェクトに掲げる9つの課題別に振り分けてみたところ、「サステナブル都市プロジェクト」「安全安心プロジェクト」「子ども・子育て支援プロジェクト」に関する意見が多く挙げられている。

問1の選択肢から選ぶ設問での回答傾向と比較すると、問1では下位だった「サステナブル都市」関連（行政改革や環境関連の回答も含む）や「都市交通安全」関連の回答が上位を占め、問1で上位だった「安全安心」関連や「健康長寿」関連の回答が下位になっている。これは、問1では概念的に重要視するものが回答されているのに対し、自由回答では具体的な要望・改善等が多く挙げられているためであろうと思われる。

図表Ⅳ－1 第4次基本計画第1次改定骨格案に関する意見（自由回答、n=1,137）

順位	項目	件数
1	サステナブル都市プロジェクト	224
2	都市交通安全プロジェクト	219
3	子ども・子育て支援プロジェクト	192
4	地域活性化都市プロジェクト	153
5	安全安心プロジェクト	138
6	コミュニティ創生プロジェクト	104
7	都市再生プロジェクト	93
8	健康長寿社会プロジェクト	79
9	セーフティーネットプロジェクト	72

寄せられた意見の主な内容は以下のとおりである。

「サステナブル都市プロジェクト」 (224 件)

- ・実現可能で堅実な行政・財政/総花的にしない/優先目標を決定すべき (51 件)
- ・行政のスリム化/無駄をなくす/箱物に投資しすぎる (48 件)
- ・環境保全 (自然保全、路上禁煙、ゴミ等) (32 件)
- ・公園・緑地の整備(28 件)

「都市交通安全プロジェクト」 (219 件)

- ・自転車走行空間の確保・整備/安全対策 (52 件)
- ・歩道の確保・拡幅・整備・バリアフリー化 (44 件)
- ・道路拡幅・整備(32 件)

「子ども・子育て支援プロジェクト」 (192 件)

- ・若い世代を育てる(単に子育て支援)/大切に作る (60 件)
- ・教育支援・教育内容の充実/食育教育 (26 件)
- ・若い世代・子どもの暮らしやすいまちづくり/負を残さない (25 件)
- ・保育園の増設/待機児童解消 (23 件)

「地域活性化都市プロジェクト」 (153 件)

- ・産業の育成・活性化 (48 件)
- ・図書館等文化施設の充実/文化都市 (25 件)
- ・地域格差をなくす (22 件)
- ・観光振興 (13 件)

「安全安心プロジェクト」 (138 件)

- ・安全安心な暮らしの確保/住みやすさ (62 件)
- ・防災対策 (33 件)
- ・防犯対策 (25 件)

「コミュニティ創生プロジェクト」 (104 件)

- ・地域コミュニティの活性化 (26 件)
- ・共助/協働 (19 件)
- ・コミュニティ・センターの活用 (10 件)

「都市再生プロジェクト」 (93 件)

- ・再開発 (18 件)
- ・公共施設の複合化/新川防災公園・多機能複合施設 (仮称) の活用、利便性 (14 件)
- ・空地・空き家の整備・活用 (14 件)
- ・健康・スポーツ拠点の保全・整備 (13 件)

「健康長寿社会プロジェクト」 (79 件)

- ・シニアが住みやすい/高齢化への対応 (23 件)
- ・生きがい活動/健康づくり (16 件)
- ・介護サービス/高齢者福祉の充実 (13 件)
- ・特養など高齢者施設の整備 (11 件)

「セーフティーネットプロジェクト」 (72 件)

- ・就労支援 (17 件)
- ・障がい者支援・自立支援 (15 件)